

やさかだよい7 No. 85

八坂地域づくり協議会 <https://www.shinshu-yasaka.com> 2021年(令和3年)7月1日



まってきました！プール開き！！

7月号の記事

地域づくり協議会から	2~3
地域振興支援員再任挨拶	3
災害復旧状況について	4
八坂公民館から	5
たけのこ保育園	6
八坂小学校・中学校	7
コミュニティスクール	8~9
山留の風	9
きらり話題の八坂人	10
編集後記	10

梅雨の晴れ間の6月17日、たけのこ保育園でプール開きが行われました。プールに入る最初の一步がおそろおそろだった園児たちも、すぐに水に慣れ、水しぶきをあげたり、顔を水につけたりとプール遊びを楽しみました。これからの季節、待ち遠しいひとときです。

八坂地区の人口：782人
(男 387人・女 395人)
八坂地区の世帯：358世帯
(令和3年6月1日現在)

地域づくり協議会の活動から

	区 分	内 容 等
5/13	第 1 回地域振興部会議	・ 移住者アンケート結果について ・ 八坂ビューポイント整備について ・ 本年度地域振興部の事業計画について
5/18	やさかだより編集会議	・ 7 月号の編集について
5/19	第 1 回八坂地域づくり協議会	・ 北アルプス国際芸術祭についての説明(まちづくり交流課) ・ 公共施設管理個別施設計画について ・ 令和 3 年度の要望書の取りまとめについて ・ 八坂ビューポイント整備について ・ 地域振興部の活動について
6/8	第 1 回自治振興会長会議	・ 自治組織の在り方について
6/13	相川・大曲ポケットパーク花植え	(3 頁の記事参照)
6/17	第 1 回地域間交流事業実行委員会	・ 本年度は「夏まつり」ではない内容で開催する方向で協議し、開催時期と内容については次回検討する予定です。
	第 2 回地域振興部会議	・ 八坂ビューポイント整備について ・ 田舎暮らし体験ツアーについて



花いっぱい事業～各集落で花植えが行われました～



切久保子ども会のみなさん



石原地区のみなさん



押の田集落



野平地区子ども会のみなさん



矢下集落



小菅集落



宮の尾集落

相川・大曲ポケットパーク

花植え作業に協力しました

6月13日(日)、八坂商工倶楽部の相川・大曲ポケットパークの花植え作業に26名の方が集まり、花植えを行いました。当日はやさかボランティア隊の皆さんの協力もあり、雨の中にもかかわらず予定より早く作業を終えることが出来ました。おかげさまで、相川・大曲のポケットパークと相川展望公園を花で飾ることができましたので、ぜひご覧ください。



八坂商工倶楽部の皆さん、地域の皆様、
やさかボランティア隊の皆さん、
雨のなか、ご協力ありがとうございました！



次回の八坂ビューポイント整備作業

7月11日(日)に

唐花見湿原周辺の整備を行います。

皆さんのご協力をお願いします！

地域振興支援員

再任について



小浪 和正

平成30年度より地域振興支援員として3年間携わってまいりました。その間地域の皆様には大変お世話になり、皆様のご協力に感謝申し上げます。この度、再任用という事で、引き続き地域振興支援員として働かせていただく事になりましたので、引き続きよろしくお願いします。

当初は、3年間は長いと思っていましたが、あっという間に過ぎ去ってしまいました。その間に、八坂地域づくり協議会の事務局補佐として係わり、地域振興検討会議で提案のあった「八坂ビューポイント整備」「やさかボランティア隊」の活動や立ち上げに協力し、八坂大滝、唐花見湿原周辺整備に始まり、山姥の滝の整備、相川・大曲ポケットパークの花植えなどを行い、地域や集落を越えた活動を通して地域の方と、移住者の方が楽しく汗を流し、交流する場づくりに協力することができました。

また、高齢者サロン「縁が和」の手伝いや、八坂中学校生徒会の

「フォトコンテスト」などに関わることによって、高齢者の方や、中学生のみなさんのお声を聞く機会が多くなりました。その中で中学生の皆さんが山留生も含め、「八坂」を思う熱い気持ちを持っていることを知りとても心強く思いました。

地域支援員の仕事は何か、分かりづらいたと思いますが、皆様のご意見をお聞きし、皆様の思いに寄り添いながら地域づくりを考えていきたいと思っておりますので、これからもご支援をお願いします。

今年度から「八坂地域づくり委員会」の事務局のお手伝いを始めましたが、委員会では、住民意識調査のための住民アンケートを実施しています。これからの八坂地区を考えていく上で大切な調査です。ご自身のご意見が八坂地域振興に繋がる絶好のチャンスですので意識調査アンケートにご協力をお願いします。

移住者が殺到する地域はいずれも、その地域での生活を楽しんで積極的に生活している地域の方です。よそから見て魅力があるからこそ移住してみようと思うのではないのでしょうか。八坂地域もそうありたいと考えていますのでご協力をお願いします。

令和2年7月8日～9日発生 梅雨前線豪雨災害

災害復旧状況についてお知らせします



大規模な地すべりが発生した塩沢川上流部

令和2年7月8日～9日にかけて発生した梅雨前線豪雨により、塩沢川上流部の山林において大規模な地すべりが発生しました。

被災規模は、長さ約200m、幅約100m、約20万 m^3 の規模で、市道大塚曾山線が約100m流出したため、河川内に大量の土砂や倒木が堆積し、既存の治山堰堤が埋まりました。

今回の被災場所から下流部の住宅や中学校までは約2kmの距離で、途中に砂防堰堤が2基あり、河川勾配は比較的緩やかではありますが、近年の異常気象による豪雨等により下流部への土砂流出が懸念されることから、県の関係機関に対策をお願いいたしました。

県犀川砂防事務所では、被災場所下流部にある大塚砂防堰堤の土砂の排出を行い、ダム機能確保と、土石流センサーによる24時間監視と関係者への自動通報システムの整備をしました。

北アルプス地域振興局林務課では、崩落箇所の倒木の搬出、河川の監視カメラや伸縮計を設置して24時間の監視をしています。

なお、今後も、土砂や倒木の堆積による河川のダム化をふせぐために倒木の搬出などの対策を計画されています。

被災地の下流部には、大塚集落、中学校、県道舟場矢下線や水道管などがあることから、県や市（消防防災課、八坂支所、建設課、学校教育課、上下水道課）では、塩沢川下流部に何らかの影響が考えられる場合の緊急連絡体制をつくり、関連住民への避難連絡を行います。



土砂が堆積した砂防堰堤



整備された砂防堰堤上流部



緊急事態に備え、24時間監視システムを設置

八坂塾 竹細工講習会開催

5月29日(日)に竹細工講習会を八坂公民館で開催しました。

講師は、美麻新行の重田穂積さんと、平公民館で活動されている「竹の会」より貝津由香さんをお招きし、初回は竹ひごづくりで使用する「竹割包丁」に慣れるため、竹を削って丸い菜箸を作りました。

講習会には19名が参加し、ほとんどの方が初めてでしたが、講師の指導の下、真剣に作業を行い手際よく作ることができました。



重田さんの指導を受けながら菜箸作りをする参加の皆さん



これから竹細工の基本である竹の油ぬきや竹ひご作りに挑戦し、最終的には竹ざるを完成していくことを目標に5回の講習会を予定しています。

地区内では、古くから竹細工の文化が育まれてきましたが、現在は全く伝承されていらないため、この講習会を通じ、竹文化の再現と地域の貴重な資源である竹の有効活用を図ることが期待されます。

令和3年度高砂大学スタート

昭和46年に始まり、今年で51回目を数える「高砂大学」は、6月4日(金)に八坂公民館で入学式を行い、新たに加入された6名の皆さんを加えた55名の受講者が入学しました。

入学式終了後は、「夢や希望を叶える方法」と題して、安曇野市の西澤克昌さんから、常に「ありがとう」の気持ちを持ち、感謝することや習慣づけることにより、夢や希望が叶うとのご講演がありました。



午後は「介護保険制度について」と題して、県介護支援課の柳瀬光亮さんから、制度の仕組みや介護サービスの種類、要介護認定の方法などについて、分かり易い説明があり、受講された皆さんは真剣に聞き入っていました。

高砂大学は、コロナ対策を徹底する中で、来年3月まで全8回の講座を開催し、高齢者の皆さん、の生きがいづくりと交流、社会参加を図っていきます。



すこやか広場

「すこやか広場」は、子どもの発育を保健師などと一緒に確認しながら、子育てについて考え、子どもや親同士の交流を図ることを目的として年9回開催します。

今年度も盛りだくさんの内容で開催しますので、未就学児がいるご家庭の皆さんは、お気軽にご参加ください。

お申し込み等詳細については、八坂公民館までお問い合わせください。

八坂公民館 ☎26-2380

令和3年度 すこやか広場 日程(全9回)

6/22(火)	開講式
7/27(火)	親子で楽しむヨガ教室
8/27(金)	水遊び
9/24(金)	幼児のための運動教室
10/18(月)	バス遠足
11/9(火)	やさいも
12/7(火)	おはなしの会(すがのっくる)
2/17(木)	親子で遊ぼうリトミック
3/8(火)	クリスマスコンサート
	お店屋さんごっこ
	おはなしの会(お布団シアターの会)
	閉講式

こいのぼり運動会をしました！

たくさんこのこいのぼりがおよぐ園庭で、こいのぼり運動会を楽しみました。体操やかけっこ、サーキットをし、お友だちをみんなで応援して元気に頑張りました。玉入れの玉がうまく入ったり、1等でゴールできると大喜びでした。準備や終わった後の片づけも自分たちで進んでできました。



ゴール！

みんなでサッカーをしました



FC大町タフイタ保育園巡回サッカー教室があり、ジョージコーチにサッカーを教えていただきました。ボールを高く上に投げてキャッチをしたり、転がるボールを足で止めたり、シュートをしたりと楽しくボールを追いかけてました。最後にはゲームをして、思



ありがとう！

切久保鷹狩クラブと草取り交流をしました



おいしかったよ！

畑の野菜がとれました

こいのぼり運動会の前に園庭をきれいにしてください、とてもありがたかったです。



毎日、子どもたちが水くれをしてくれていた畑の野菜が大きくなり、今年初めての収穫をしました。二十日大根、スティックセニョール、きゅうりが取れお昼にみんなで食べました。「ブロッコリーとマヨネーズ合

楽しかったね！連学年遠足に行ってきました

曇り空で雨降りが心配される予報でしたが、4月28日（水）に連学年での遠足を実施することができました。1・2年生は、唐花見湿原までを予定していましたがコースを縮小して切久保地区の市民グラウンドを目的地に変更し、お昼は学校に戻ってから食べました。3・4年生は、当初の予定通り鷹狩山まで行き、大町市内の景色を眺めてお弁当を食べて帰校しました。5・6年生は、八坂中学校手前から県道美麻八坂線へ向かう林道を通って、ごせ岩伝説が伝わるごせ岩の前を通り、矢田川の摩崖仏をお参りしてお弁当を食べて帰校しました。

1・2年生へは北澤明美さんと黒田知子さん、松島吉子さん。3・4年生へは勝野健一さんと土屋亜矢子さん。5・6年生へは田中照幸さんと秋山弥生さん、渡辺恵子さんが、学校支援ボランティアとしてそれぞれ同行してくれました。

子どもたちの安全確保とともに、地域の自然や地形、歴史伝説などに関わるお話をボランティアの皆さんからお聴きし、大変学びの多い遠足にすることができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

3年生



1・2年生



4年生



5・6年生



学校再編地区説明会を開催します

市教育委員会では、現在、市内小中学校の再編について検討し、「学校再編基本計画」を策定しています。八坂地区は、小学校と中学校を統合し、小中一貫校を目指していくこととなります。この計画（案）について地区説明会を開催しますのでご参加ください。

日時：7月1日（木）午後6時30分

場所：八坂公民館（アキツ）

八坂中学校

ガードレール磨きが行われました

5月22日（火）に、伝統あるガードレール磨きが実施されました。今年は小学校の5・6年生にも参加してもらい小中学校合同の行事となりました。大町建設事務所、市役所、市八坂支所、地元建設会社、北アルプス広域シルバー人材センター、八坂学校協働隊等の皆様に支えていただきこの行事が続いています。心より感謝申し上げます。

先日、郵便配達員さんから「ガードレールが白く光っています」とても気持ちいいです。」という励ましの言葉をいただきました。





～小学5年生 稲作プロジェクト～ (田んぼ活動記録)



おいしいお米を みんなでちから合わせてつくるぞ！

もみ蒔き 4月19日(月)

JA営農指導員のご協力をいただき、「あきたこまち」のもみを蒔きました。子どもたちは、お手本通りに、土の上に均等に種を蒔くことが出来ている人がほとんどで、JAやボランティアの方々から「さすがだなあ」「よく出来ているわ」と、感心されていました。管理の仕方を教わり、「温度が大切」ということを学び、管理当番を決めて観察を始めました。

水路整備 5月1日(土)

ボランティアの方々、5年生保護者、3・4・6年生の山留生に協力していただき、水路整備を行ないました。途中で、天然のわさびやたら芽がたくさん生えていて、子どもたちは夢中で収穫していました。作業終了後のボランティアの渡辺さんの手作り塩むすびは、格別においしかったです！

代掻き 5月10日(月)

たけのこ保育園の園児と一緒に学校支援ボランティアの北澤豊繁さんのご協力を得ながら代掻きを行いました。「荒代」というやり方で、田んぼの真ん中あたりを足でどんとどんと踏みならして歩きました。慣れにくくと動きが活発になり、土手から飛び降りたり、どろんこ競争をしたりと「どろんこ遊び！」の幕開けとなり、大はしゃぎ・・・。たけのこ保育園児とも楽しい時間を過ごしました。

その後は、冷えた体を八坂小学校の特色でもある『お風呂』で疲れた体と冷えた体を癒しました。

田植え 5月19日(水)

学校支援ボランティアの北澤豊繁さん、北澤伸夫さんにご指導を受け、1人10列を請け負って、黙々と田植えを行ないました。

最初はぎこちなく行なっていました。経験のある友達などに教わり、コツをつかむと順調に植えていきました。引かれた線どおりに真っ直ぐに植えていく人もいれば、自分の感覚でボンボンと素早く植えていく人、残すのがもったいないと3、4本の基準よりもはるかに多い20本……くらいの束をボンボンと植えていく人、7人7様の植え方で個性豊かな植え方でした。

最後に、北澤さんから田んぼへの水の入れ方を教えていただきました。山の地形を生かした知恵をしばらく、様々な工夫をしながら農作物を育て、守っていることを学ぶことができました。

担任の伊澤智子先生は、「久しぶりの田植えに挑戦してみました。なぜか苗が沈み過ぎてしまい、子どもたちに「先生の苗、見えないよ」と、子どもたちに突っ込まれる始末でした(笑)。子どもたちの方が、私の何倍も上手でした。これから水の管理と子どもたちの成長と共に成長していくお米も楽しみです！」と笑顔で話してくれました。

秋の収穫祭がとても楽しみです。

小学3年生 八坂探検学習

探検その1 (川手方面)

5月19日(水)、天候が心配されましたが、帰りのバスまで雨に降られることなく、計画通りにすべての行程を実施できました。学校支援ボランティアアコーディネーターの勝野健一さんが同行してくださり、最初に公民館の模型で八坂の全体像を説明していただきました。①八坂大滝弘法堂 ②野平神社 ③さざなみ ④松本藩御竹敷跡 ⑤山姥の滝の順に回り、説明を子どもたちは熱心にメモしながら聞いていました。八坂大滝では、昔、通学路として使われていたという滝のすぐ近くの道まで行ったり、野平神社ではお参りの仕方を教わったり、さ



ざなみでは、昔は八坂第二小学校だった事に驚いたり、栃沢の竹敷では、松本城の壁にも使用されているという立派な大竹を見ることができました。子どもたちは「八坂って広いね!」「行ったことのない所に行けて良かった!」「みんなと安全に行けて良かった!」など、笑顔がたくさんの一日となりました。

探検その2 (山手方面)

5月27日(木)、残念ながら雨の中の探検となりました。前回に続き、勝野さんに同行していただきました。①地藏堂 ②三原農場 ③山留センター ④平沢隧道の順に回りました。

地藏堂では、今から680年程前に造られた八坂で一番古い地藏様を見せていただき、三原農場では、仁科祐樹さん(仁科農園)に教わり、子どもたちの質問攻めにも優しく答えてくれました。お土産に朝に収穫した『甘くておいしいレタス』をいただきました。山留センターでは、センター生の坂部仁香さんが、緊張しながらもセンターでの活動の様子をわかりやすく説明してくれました。平沢隧道では、切久保地区で米作りをするために、水の確保に尽力した計り知れない努力を学びました。地域の方々の協力のおかげで、子どもたちと一緒にとても貴重な時間を過ごせたことに、担任の熊谷航先生も感謝されていました。

山留の国

育てる会 TEL:26-2306 HP:www.sodateru.or.jp

大姥山登山 5月4日(火)(晴れ)

すっかり体を動かし、八坂の自然に触れようということで金太郎伝説の残る大姥山登山をしました。



まずは大姥神社前宮で、登山の安全を祈願。山道に入ると川のせせらぎや、鮮やかな朱色のヤマツツジが出迎えてくれました。

地元の方の案内の下、金太郎が産湯を使ったとされる産池や金太郎が育ったと言われる大穴を見学。大穴でお弁当を食べ、エネルギーを補給して山頂へ向かいました。この日は晴れた気持ちのいい天気だったため、山頂からは北アルプスの山々を望むことが出来ました。帰りは山姥の滝で一休み。登山で火照った体を冷やしました。今回歩いた距離は約8キロ。金太郎伝説やセンターがある切久保とはまた違った上籠地区の自然を満喫することができました。

田植え 5月23日(日)(晴れ)

初夏らしい爽やかなこの日に田植えを行いました。センターでは苗をひとつひとつ丁寧に手で植えています。

まずは今年一年間の稲作を見守っていただくため、春祭りを略式で執り行いました。事前に作法を学び、神事らしく厳粛な雰囲気で行うことができました。

春祭りを終えるといよいよ田んぼへ。田んぼに足を踏み入れると、その泥の感触に「変な感じ!」「ぬるい」と戸惑いつつも、全員で力を合わせて作業することができました。自分達の手で植えることで先人の苦勞を知り、より達成感を味わうことができたようでした。



八坂の自然を家族で楽しんで！

私たち家族は大阪府出身で、旅行や自然を満喫できるキャンプや登山、温泉めぐりやDIYなどが大好きなアクティブな4人家族です。自然豊富な八坂への引っ越しで、さらに趣味が増えそうな予感です。

八坂小学校に通う3年生と1年生の女の子がいます。自然の中で元気に、楽しく、学んで欲しいと考えています。

入居してからは、近隣の住民の方たちにいろいろなことを教えていただく、楽しく充実した日々を過ごしています。これからも地域の住民の方との交流を大事にし、地域の活性化に努められたいと思います。みなさまよろしくお願ひします。



今年3月に、愛知県名古屋市中から引っ越してきました桂川昇吾、妻の美恵、小学1年生の千織と申します。

今後の暮らしについて考えていたところ、栃沢団地の募集を知り、移住のタイミンクなど希望する点が合い、応募をしました。

趣味はキャンプですが、引っ越しを機に、登山やボルタリング、DIYなど挑戦してみたいことがたくさんあり、今後の暮らしがとも楽しみます。

はやく地域に馴染めるように、地域活動にも積極的に参加していきたいと思います。何卒、よろしくお願いします。

竹細工講習会に参加して
きました。竹細工職人にな
るぞという勢いで参加しま
したが、第一回の竹の箸作
りで既にほど遠いと感じ
ました。継続は力なりで、
何とか竹籠まで挑戦したい
と思います。八坂には天然
の資源が沢山あるので、技
術を身に着ければ可能性は
無限大です。志は高く、め
させ職人！
マスクなし、手は泥だら
け、密は無し、我が家の農
作業の日常です。都会の友
人には羨ましいと言われま
した。コンビニも無い八坂
の日常が何だか尊いものに
思えてきました。山には食
材も沢山あるし、庭で野菜
も栽培出来ます。今求めら
れているのはこんな生活な
のではないのでしょうか。八
坂に来て良かったと今改め
て実感しました。
ワクチン接種が始まり、
今年度も制約の多い中、少
しずつ前に進み始めていま
す。コロナウィルスの行く
末も心配ですが、自然災害
も心配です。夏の猛暑や豪
雨災害、色々に備えて日々
元気に過ごしたいですね。
熱中症に気を付けて農作業
頑張りましょう。マスクを
しないで自由に行動できる
毎日が一日も早く来ますよ
うに。

黒田知子

さとう
佐藤さんご家族



左から ゆきこ ひろき
有伎子さん 裕紀さん
ゆあ ゆうな
裕有さん(8才) 有羽菜さん(7才)

かつらがわ
桂川さんご家族



左から
しょうご ちおり みえ
昇 悟さん 千 織 さん(6才) 美恵さん

昨年、舟場の栃沢地区に定住促進住宅が建てられました。今号は、今年の春に新たに入居された二家族をご紹介します。



編集後記